

電磁障害を見える化し、安心して無線DXを導入できる現場へ

■ 背景・課題

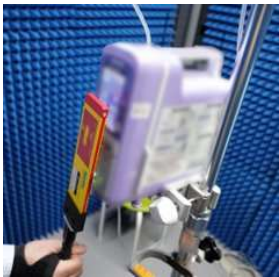
- 工場等の無線化ニーズが高まる一方、電磁障害の懸念が導入判断の抑制要因の1つに。
- 具体的な工学的根拠に基づいた電磁障害リスクの説明が重要。

■ 技術の本質・ポイント

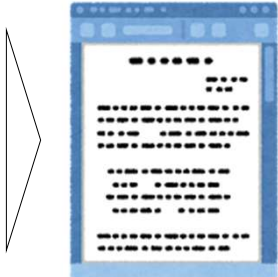
- お客様サイトにおいて電磁障害の発生の有無および発生を回避するための条件を可視化するため、これまでの調査ノウハウを活用した専用調査ツールを準備。
- 通信用の各種無線システムに対応し、お客様のNW環境に応じた調査が可能。



専用調査ツール



調査イメージ



電磁障害リスクの可視化

調査可能な無線システムの例

	7	8	9	1	1	1	1		2	3	3	3	4	4	5	5	5
Freq.	0	0	0	.	.	.	.	2	.	.	.	.	.	.	.	.	.
	0	0	0	5	7	8	9	G	4	4	5	7	5	7	2	3	6
	M	M	M	G	G	G	G		G	G	G	G	G	G	G	G	G
4G	○	○		○	○			○		○	○						
5G	○							○				○	○				
L5G														○			
GSM		○	○			○	○										
WiFi									○						○	○	○

■ ビジネス実装・提供価値

想定業種：製造業、医療分野、など

導入メリット：無線化による作業/保全/情報連携の効率化、など

実装フェーズ：サービス中

■ 活用シーン

- 工場内でのスマホ利用OKエリアとNGエリアの決定
- 電磁障害リスクのないIoTモジュール設置位置の探索
- 手術室内でのスマホ利用可否の判断、など

